

(本概要書は、契約書第1条に規定する設計図書には含まれません。設計図書の記載内容と齟齬がある場合は、設計図書を優先します。)

(また、本概要書の質問に対する回答は行いません。)

概要書

本業務の内容や成果の活用イメージについて、その概要を以下に示します。

※業務内容の詳細は、業務仕様書で確認してください。

業務名 : 令和8年度官庁施設における中規模木造庁舎のコストに関する検討業務

競争参加資格確認申請書の提出締切日 : 令和8年5月29日

技術資料の提出締切日 : 令和8年6月26日

参加要件 : 詳細は公示等をご確認ください。以下に、要件の一部を記載します。

- ① 管理担当者は、一級建築士であること。
- ② 管理担当者は、分担業務分野「(1)総合」「(2)構造」いずれかの主任担当者を兼任することは差し支えありません。
- ③ 下記【業務の内容】(1)①②のうち分担業務分野「(2)構造」にかかる業務、(1)③の積算に関する業務等は、発注者の承諾を得た上で再委託することができます。(再委託してはならない部分については、業務仕様書をご参照ください。)

■業務概要 :

【業務の目的】

本業務は、中規模(地上3階建、延べ面積 1,500 m²程度)の木造庁舎の試設計を行い、木造建築物に特有のコスト要因を考慮した合理的な計画の在り方を検討するとともに、コスト要因に係る内容の把握・検討・決定のプロセスを整理することにより、木造庁舎の設計段階におけるコスト検討の効率化に資する資料をとりまとめることを目的とします。

【業務の内容】

- (1)中規模木造庁舎の木造化に関する検討
 - ① 地上3階建、延べ面積 1,500 m²程度の木造庁舎のプランの検討
 - ② 実施設計資料の作成(総合及び構造分野)
 - ③ 積算に関する業務(総合及び構造分野)
 - ④ 在来軸組構法と枠組壁工法の比較
- (2)木造建築物のコストに影響を及ぼす内容の把握及び整理
- (3)中高層の木造建築物の事例収集及び整理
- (4)業務報告書の作成

■成果の活用イメージ

本業務で調査した結果は、一般的な中規模木造庁舎の設計段階におけるコスト検討において活用する予定です。